



# 交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和6年6月号



## 交野おりひめ大学

KATANO ORIHIME UNIVERSITY

- そば学科
- おさけ学科
- デザイン学科
- クラフトビルド部
- 交野伝説学科
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かのたのキャンヴァス
- KATANOホイスコーレ準備室

昨年度、新たに開講した「KATANOホイスコーレ準備室」を紹介합니다。

昨年度開講した新学科「KATANOホイスコーレ準備室」について、リーダーの岩佐さんがやさしく解説します。

おりひめ大学に、昨年度より開講しました「KATANOホイスコーレ準備室」リーダーの岩佐です。「ホイスコーレ？」「準備室？」と、「？」だらけの学科名ですよ。今回は、この場をお借りして、学科の案内をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、「ホイスコーレ」とはデンマークの大人向けの教育機関「フォルケホイスコーレ」からの引用で、デンマーク語でフォルケは人々、ホイは高い、スコールは学校という意味で、大正初期に「国民高等学校」と訳されているので、直訳すると「交野国民高等学校」となり、なにやら戦前の教育を思わせる響きですが、旧来の日本の学びとは全く異なります。



↑知の欲求を満たす場、フォルケホイスコーレ

なく、17歳半以上ならだれでも入学でき、成績がつくこともなく、資格を取ることもできません。

では何のために何を学ぶところなのかというと、70校ほどあるフォルケホイスコーレのすべてが、一個人が単に生計を立てるだけでなく、人生を生きることを可能にする教育という目的を掲げ、自分の幸せや関心に基づいて、とことん好きなことを学ぶことができる教育機関です。

このことから「人生のための学校」、「幸せを考えられるための学校」、「自分を育てるための学校」などと、言われています。

フォルケホイスコーレでの学びは、「対話」に重きを置いて進められます。常に他者との「対話」を大切にし、何か問題があればみんなで納得いくまで話し合っ解決をする、そうやって様々な意見に触れることで自分を知り、民主主義的解決方法が自然に身につくといえます。

在学生の国籍トップは、当然デンマーク人なのですが、その次に多いのが日本人で、人生の見直しを図りに訪れるといえます。

その背景に、日本は平和で安全で豊かなのに、幸福感で満たされていないと明言する人が少なく、大人も子どももメンタルダウンする人が増えている現状があり、それを単に「甘え」や「ぜいたく」などという言葉で片づけて「気合」で乗り切るのではなく、自分軸の幸福感や充実感をもって生きられる人生の道を見つめるために、有用な場を求めて訪れるのではないかと考えています。

そんな豊かな学びを、交野の豊かな自然に囲まれて体験できる場の設立を目的とした学科ということで、「準備室」としました。

とは言い、リーダーの私を含め、現在の準備室メンバー全員、本場のフォルケホイスコーレ未経験なので、いろいろな媒体からの情報を共有したり、経験者が主催するイベントに参加してメンバー間で対話を重ねて、本場フォルケホイスコーレをそっくりまねるのではなく、日本の良さを再確認しながら私たちが「KATANOホイスコーレ」を作り上げたいと思っています。

少しでもご興味を持たれた方は、対話を楽しみにご参加ください。お待ちしております！

国内でも、各地で様々なホイスコーレの取り組みがあるようですね。交野の自然を活かした、交野らしいホイスコーレを目指したいですね！

あなたの“やりたい”を、交野おりひめ大学ではじめてみませんか？

↓検索してみてください。  
2024年度学科生募集中！

交野おりひめ大学



大学マスコットのカエルくん  
「交野にカエル、交野をカエル」